

## 「なつかし人形展」の開催

関連記事 20 ページ

### 報告①



展示品を見られた利用者様の第一声は、「懐かしいね〜！」と声を揃えたようにおっしゃられていました。「そうそう、昔はこがなんじゃったよね〜。」と話はどんどん盛り上がりました。「洗濯も手でしよったよ。最初は汚れが落ちんけえ、風呂の残り湯で洗いんさいってお姑さんに教えてもらってねえ。」「五右衛門風呂は、真ん中にのらんと火傷するんよ。ようお母さんに押さえてもらいよったよ。」「赤ちゃんにおっぱいやりよる時に、かまどのご飯がふいたりして大変だったよ。」等々、昔の生活を思い出してお話をして下さいました。



またある方は、「昔は井戸があるところに皆が集まって、ずっと話すけえ井戸端会議って言うようになったんよ。」と言葉の語源を教えてくださいました。

驚くことに、展示品の井戸の底にはスイカが冷やしてあったり、稲は本物を使ってあったりと展示品は細部まで凝った作りで仕上げられていました！

皆様、思い思いに展示をご覧になられ、懐かしいひと時を過ごされた様子です。

作品の制作者の木村 茂 様は、展示にあたり、このような言葉を記されていました。

『昔を生きた先輩方が展示をご覧になることで今一度立ち止まり、はるかな昔の足跡を若い世代に語り伝えることによって、その世代が昔に生きた祖先の尊い汗や涙に少しでも感謝が出来ればと願います』。

カッコエエ〜！

まさに、ご先祖様のおかげで、今命をつなぎ、平和で便利な時代を迎えられたことを改めて本当にありがたいことだと実感させていただきました。木村様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！

来年の展示も楽しみにしております。

デイサービスセンターなごみの郷 落合

川上 菜穂子



## 祝 なごみの郷の敬老会

日ごとに秋の色が深まり、夜、窓を開けますと虫たちの合唱が楽しめる季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、9月18日(月)は敬老の日です。「長年にわたり、社会に尽くしてきたお年寄り様を敬愛し、長寿を祝う」大切な日とされています。それに先立ち、「なごみの郷」では去る9月16日(土)に「敬老会」を開催し、今年も多くの利用者様と家族様が参加されました。

この日は、沖縄に上陸した大型で非常に強い台風18号と、そしてマジック1が点灯するカープがヤクルトに勝ち、地元優勝を飾れるかどうか勝負の行方が気になる…そんな一日でもありました。



今年、百歳(百寿)を迎えられましたのは教誓光子様と檜崎綾子様のお二人です。壇上で内閣総理大臣より表彰状と銀杯、広島市から置時計の記念品を受け取られた教誓光子様は、純白の頭巾とちゃんちゃんこを身にまとわれ、傍に付き添われた家族様とにこやかな笑顔を見せてくださいました。また、90歳(卒寿)・88歳(米寿)・80歳(傘寿)・77歳(喜寿)の節目を迎えられた皆様のお名前をスクリーンに映しながら、お一人ずつご紹介しました。心より、お祝い申し上げます。

残念ながら、この日の優勝は逃してしまいました。冒頭、松林施設長の挨拶のなかでも、このカープの話題に触れ、うんうんと頷く利用者様の姿も見られました。今年もカープの活躍に元気をもらったという方も多いのではないのでしょうか。

また、ご来賓として、衆議院議員の河井克行様、広島市議会議員の木戸経康様よりご祝辞をいただきました。







さて現在、「なごみの郷」の最高齢は102歳で、100歳を超える方は5名もいらっしゃいます。利用者様のご年齢を「ご長寿番付」とし、2階の地域交流スペースに掲示しておりますので、お越しの際は、ぜひご覧くださいませ。

そして敬老会のクライマックスは、毎年恒例の「ちどり会」様によります琴の演奏会です。

「春の海」、「さくら」など、今年は尺八も加わり、なお一層、雅で華やかな音色に包まれました。「昔、私もやりよったんよ」、「琴はいいねえ」と皆さんの顔に笑顔があふれました。続いて、演奏に合わせて、「春の小川」、「朧月夜」、「茶摘み」、「幸せなら手をたたこう」、「星影のワルツ」など全8曲を歌いました。皆様の明るい歌声が広いフロア一っぱいに広がり、賑やかで楽しい敬老会となりました。



「今日は本当によかったわ。」、「すごく楽しかった。」、「全部知ってる曲よ。懐かしいわねえ。」と、終了後は皆様の楽しそうな会話があちらこちらで聞かれました。

また、会の中で永年勤続年数 10 年にあたる職員 の紹介と表彰も併せて行いました。私達職員は、これからも学びの心を忘れず、皆様の暮らしが安心してより豊かなものになりますようにお支えし、来年も再来年も皆様とともに、笑顔でこの日を迎えたいと感じた一日でした。



デイサービスセンターなごみの郷 落合 谷本 章子

